

漁況情報 No.27 平成 20 年 2 月 7 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

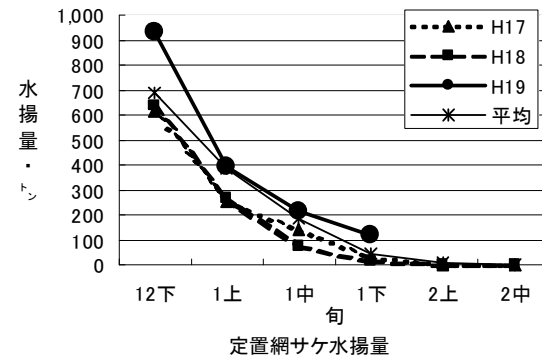
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

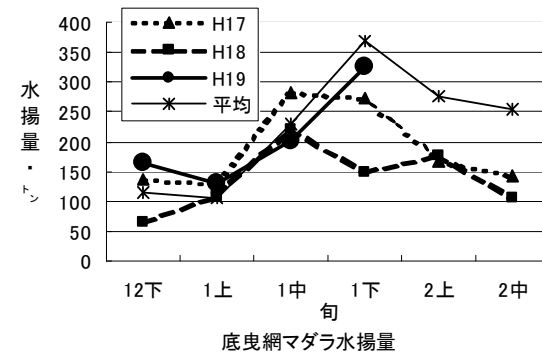
サケ(定置網)の水揚げは前年を上回っています。
マダラ(底曳網)、ケガニ(かご)の水揚げは好調です。

1. 水揚げ状況

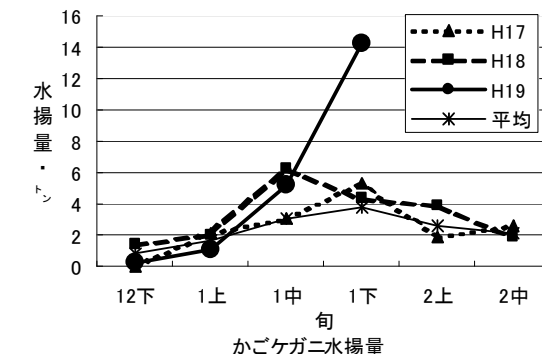
(1) サケ(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、1月下旬の水揚げ量は119トン(前年同期の8.4倍)でした。また、1月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は45トンで、旬水揚げはその2.7倍でした。年累計は17,463トン(前年同期並)です。



(2) マダラ(底曳網)は宮古を中心に水揚げがあり、1月下旬の水揚げ量は326トン(前年同期の2.2倍)でした。また、1月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は368トンで、旬水揚げはその89%でした。年累計は3,902トン(前年同期並)です。



(3) ケガニ(かご)は宮古、釜石を中心に水揚げがあり、1月下旬の水揚げ量は14トン(前年同期の3.3倍)でした。また、1月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は3.8トンで、旬水揚げはその3.8倍でした。年累計は29トン(前年同期の1.6倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査船運航計画(2月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	底曳網調査	2/5~6、/12~15、/25~29
	沿岸定線海洋観測調査	2/18~22
北上丸	タコ類かご調査	2/4~8、/21~22
	仔稚魚・動物プランクトン調査	2/12~14、/25~26
	タコいさり調査	2/18~19
	イカナゴ調査	2/27~29

3. 今年度水揚げ状況のまとめ

- アキサケ(定置網)水揚げ量は、年累計17,463トン(前年同期並)で、漁獲のピークが11月中旬から12月上旬まで長期に亘りました(これまでは11月下旬に大きなピーク)。
- スルメイカ水揚げ量は、定置網では特に11月下旬以降に多く、年累計5,323トン(前年同期の1.7倍)、イカ釣りでは漁期を通じて好調を維持し、年累計7,982トン(前年同期の4.8倍)、底曳網では11月まで前年を上回り、年累計7,643トン(前年同期の2.5倍)でした。
- サンマ水揚げ量は、棒受網では10月まで少なかったものの、11月以降に暖水塊の影響で本県沖に漁場が形成され、年累計52,831トン(前年同期の1.2倍)、定置網でも暖水塊の影響によって12月にまとまり、年累計230トン(前年同期の2.2倍)でした。
- サワラ(定置網)水揚げ量は、漁期を通じて好調を維持し、年累計486トン(前年同期の3.3倍)でした。
- カラフトマス(定置網)水揚げ量は、漁期を通じて好調を維持し、年累計779トン(前年同期の16倍)でした。
- サバ(定置網)水揚げ量は、漁期初めは好調だったものの、その後はふるわず、年累計15,461トン(前年同期の76%)でした。
- マグロ(定置網)水揚げ量はふるわず、年累計106トン(前年同期の51%)でした。しかし、1月の水揚げ(14トン)は昭和41年以降、前年(20トン)に次いで2番目に多く、1月23日には1日で7トンの水揚げがありました。

◎今年度の漁況情報は本号で終了します。来年度は5月にスタートする予定です。

「フィッシュリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。